

班	講 評
26	<p>今回の議題は書籍等の参考資料となるものが多くはなく、どれだけ受験生が自分での考えを論じられているのかの差が明確と出る結果となった。その中、一般的な事項である固定資産の減損や引当金等について論じるだけではなく、自分なりの視点をもって意見をのべることができている論文については、内容面の点数を高く付与することとした。</p> <p>レベルの高い補習生とそうでない補習生がくっきり分かれた印象を受けました。</p> <p>形式や章立てを整え、テーマに沿った論述を心がけるだけでも十分優秀な層に入れると思われます。まずは論文の基本をもう一度きっちり勉強して欲しいです。</p> <p>「業種などを考慮の上」とあったことから多くが製造業に絞って論述していましたが、その他の業種における影響なども簡単にコメントして比較できるとより良くなったはずです。</p> <p>また、「監査上の留意点についてあなたの考えを述べなさい」とあるのに、どこかから引用してきた一般的な答えを持ってきているだけの論文も散見されました。正しいか正しくないかは脇に置き、自分の考えを自分の言葉で述べて欲しかったところです。</p> <p>実務も始まり、忙しい中での作成は大変だとは思いますが、もう少し真剣に課題研究に向き合っていただければ幸いです。次回に期待します。</p>
27	<p>形式面： 会社の財務諸表に与える影響と監査に留意すべき点がバランスよく論じられているかがポイントである。字数の関係からか、監査に留意すべき点の記載がうすくなっている論文が多かった。</p> <p>内容面： 自然災害が財務諸表に与える直接的・間接的影響において、監査リスクにひもつけて網羅的に記載出来ているかが重要である。字数制限があるため、平常時よりも特に監査リスクが高まると考えられる影響に絞って記載することがポイント。</p> <p>総じてあまり出来はよくないと感じました。</p> <p>形式面では、段落、章、などの区切りを正しく使えていない人も散見されます。一般的な本など、読むなり、参考とするなりして、どのような区切りにしているのかを理解する必要があります。</p> <p>内容に関しても、稚拙と感ずるものが多くありました。想定する産業も一つ、二つと少なく災害により想定される損害も例えとしては想像力不足を感じました。先の大震災を想定すれば事業そのものの存続も危うい企業も多々ある中で、固定資産と棚卸資産の評価の問題だけを論じる論文が多かったです。</p> <p>会計監査もそうですが、公認会計士の仕事は、多岐に渡ります。仕事がそれだけあるということは、また多くの知識、想像力を必要とされます。会計監査に関わる分野だけでも、公認会計士として、社会人として必要な知識は多くあります。多くの本を読む、多くの人に接する・話をする、いろんな経験をするなど、いわゆる教養を深めることで想像力を高める必要があると感じた課題研究でした。</p>
28	<p>外部に材料は揃っているが、それらを纏めているにとどまっているものと、そこからさらに深掘できているのかの 2 つに分かれてしまった印象である。</p> <p>参考文献等、よく調べられ、自身の考え方が良くまとまっていた。</p> <p>実際の事例についての考察があれば、なお良かったと思います。</p> <p>この機会に、過去の有報等で調べることも良い勉強になると思います。</p> <p>第一回よりも形式面での減点のはるかに少なく、引用も最小限にとどめられており、自分の考えを自分の言葉でまとめているものが多かったように思います。</p> <p>一生懸命取り組んでいる姿勢が現れていました。</p> <p>また人によって切り口(まとめ方)が異なっていて興味深かったです。</p>

	<p>考えられるリスクについて、より多角的な視点で考察できたかどうかで点数が分かれました。論点がシンプルであったため、引用が少なく自身の言葉で論述している割合が高かったと思います。</p>
29	<p>各業種で想定される会社の財務諸表へ与える影響については、よく論述が出来る補習生が多くみられた。ただ、監査上の留意点として、不正リスク等の視点から論じられるケースが多く、そもそも災害によって大きく企業環境が変化した中での会計上の見積りの前提等の合理性の検討について、触れているケースが少なかった。</p>
30	<p>減損や貸倒等の数字に直接関連する事項は皆さん挙げられていたと思いますが、定性的な情報の開示(注記等)も重要ですので、留意して下さい。 また、形式面ですが、表紙の宣誓事項のチェックもれが散見されますので、気を付けてください。</p> <p>各補習生ともによく考え、自分なりのアプローチで論文をまとめているが、まとめ方が弱いと読み手にうまく伝わらない。構成をよく考え、読み手側の視点に立って、論述するような心構えをさらにもって欲しい。</p> <p>全体的に論文としてうまく構成しており、良かったと思います。 監査上の留意点について、災害損失といった「会計上の見積り」についての記載をもっと厚くした方が良いと感じました。</p>
65	<p>・簡潔に要点をまとめている課題研究が多かったという印象です。全体的な出来は悪くありませんでした。</p>
66	<p>・いわゆる「会長通牒」の構成をベースに記載を展開している課題が多数でした。</p> <p>・そのアプローチで構成するのは自然だとも感じる一方、プラスアルファで創意工夫している論述、例えば事例を自ら検索して、ケーススタディとして織り込んでいる課題には高得点を付しました。</p>